

# 平成 29 年度安芸高田市教育委員会会議

## 第4回臨時会

### 平成 30 年度使用「特別の教科 道徳(小学校)」教科用図書採択会議録(概要)

- 1 日 時 平成 29 年 8 月 7 日 (月) 13 時 30 分から 14 時 30 分まで
- 2 会 場 安芸高田市民文化センター 301 研修室
- 3 出席委員等 教 育 長 永井 初男  
教育長職務代理 上田 隆之  
委 員 天清 一 亮  
委 員 山本 博明  
委 員 亀井 聖  
委 員 金川 佳寛
- 4 出席職員 教 育 次 長 土井 実貴男  
教育総務課 課 長 前 寿成  
学校教育課 課 長 児玉 晃  
学校教育課 学校教育指導係 指導主事 本田 光洋

会 議 概 要	
教育長	<p>これより議案の審査に入ります。</p> <p>日程第3議案第31号「平成30年度に安芸高田市立小学校で使用する『特別の教科 道徳』に係る教科用図書の採択について」提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第31号「平成30年度に安芸高田市立小学校で使用する『特別の教科 道徳』に係る教科用図書の採択について」提案理由をご説明いたします。</p> <p>本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定に基づき、平成30年度に安芸高田市立小学校において使用する「特別の教科 道徳」に係る教科用図書を採択するものです。この8月3日付けで安芸高田市採択地区選定委員会から採択について答申を受けましたので、この答申をもとに、教育委員会として採択をしていただきますよう別紙のとおり提案をいたします。なお、議案の詳しい内容につきましては、担当課が説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは議案の別紙をご覧くださいと思います。「特別の教科 道徳」に係り、採択する教科用図書につきましては「光村」を提案させていただきます。</p> <p>採択理由ですが、巻頭に「話し合って考えよう」「えんじて考えよう」「読んで考えよう」「書いて考えよう」の4つの学習活動を示すとともに、問題解決学習を取り入れる教材には、教材の冒頭に問題意識を持たせる問いを記載し、教材の後に学習のめあてや発問を記載しています。</p> <p>さらに、教材の後に、関連図書の紹介や自己の生き方を考えさせる言葉がけを掲載し、より学習が広がったり、深まったりしていくようにしています。</p> <p>また、いじめの問題の解決に向けて、様々な内容項目からいじめ問題に結びつく教材とコラムを1つのユニットとして設け、学年の前半に位置付けております。</p> <p>最後に学習の記録として、「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」と</p>

	<p>ともに、自分の学びの変化や学んだことが生かされたことを記入する欄を設けています。</p> <p>以上の点が、「光村」の特筆すべき事項でございまして、指導の在り方、本市の児童の実態等との観点から、本採択地区で使用する教科用図書として適当であると考えます。</p> <p>続きまして、調査員による調査研究結果、また選定委員会の答申を踏まえて、担当者からより詳しく選定理由を説明します。</p>
事務局	(答申及び調査研究報告書を基に説明)
教育長	それでは、これより質疑に入ります。ただいま説明を受けました提案理由についてご質疑はございませんか。
委員	採択理由と教科書について説明を受けたのですが、「光村」について色々特徴があったと思うのですが、ここが一番いいというところがあれば教えてください。
教育長	関連のご質問はありませんか。
委員	<p>採択理由にあるように、巻頭に4つの学習活動というものが示されていますが、これに代わるものが他社にもありますよね。しかし、このような示し方が一番いいと判断されたのだと思います。確かによく分かるように書いてあると思いました。</p> <p>それから、説明の中で発問の数が多い、あるいは少ないということがありましたが、発問数の具体的なデータがあれば教えてください。</p> <p>最後に、分冊形式というのは具体的にはA社のようなものでしょうか。</p> <p>以上3点です。</p>
事務局	<p>まず、分冊形式ですが、具体的には、A社、B社のようにノートという形のものがついているもののことを言っています。また、C社は、「活動」と「読み物」に分かれて2冊組になっています。「活動」は、発問プラス自分の考えを書くところがあり、ノートの使う部分が多くあります。これら全てをまとめて「分冊」という表現をしています。</p> <p>次に、各社巻頭に道徳科の学び方についてページ数を割いて示しています。特に「光村」は4つの学習活動を見開き1ページで示してあり、「考えよう」というキーワードでつないでいます。これが非常に分かりやすくまとめてあるという意見が調査報告の中にありました。また、「光村」の優れている点は、先ほど5年生の教科書を見ていただきましたが、その中に「すれちがい」という教材があります。18ページですが、1つのことをそれぞれ2つの視点で考えるように工夫された教材文です。このような、今までなかった新しい教材が入っています。この2つの視点で考える教材であるとか、現代的な課題を漫画等の表現を通して考えるような教材など、今までの教材にないパターンの新しい教材がたくさん掲載されていると調査報告に意見としてあがっています。</p> <p>最後に、発問の数です。発問の数が何個というデータは把握していません。E社の教科書では、1教材の中で、文の終わりに発問が2つという形になっています。それから、「学習のステップ」というところをみていただいたと思うのですが、そこには5つ発問が掲載してあります。各社このように1教材ごとにほぼ発問の数をそろえてありますので、1つ1つの教材の発問の数を比べて判断をしています。全体の数を数えてデータをとることはしていません。</p>
委員	<p>例えば、「光村」のここと、D社のここが同じに当たるのでしょうか。それであれば、「光村」の方がより書き方が優れていると思います。それから発問も確かに教材の終わりの所に違いがありますね。わかりました。</p> <p>それから、D社であれば、折り込みページがありますよね。これは、子供にとっては長く使っていたら破れるのではないかと思います。見る分には確かに楽しいのですが、1年間使えば(破れて)無くなってしまうのではという心配がありますね。</p>

	<p>それから、分冊形式についてですが、週に1時間の授業を考えた時に、時間的にしんどいと思います。加えて質のいい紙を使っているのが重くなっていますよね。分量的にも第1推薦は賛成です。</p>
委員	<p>基本的なことを聞いて申し訳ないのですが、35項目ありますよね。これは1時間に1項目、35時間ということで、学びの記録を1時間ずつ書いていくということでしょうか。全部1時間単位の1項目にしてあるのですか。</p>
事務局	<p>教科書によっては、多めに記録を書く欄を取っているところもあります。特に分冊形式のところは多いです。35時間ありますので35時間分きちんとまとめができるように、基本的にどの社も学びの記録を書くようになっておりますが、感想を書いて自己評価もして、という書くことが多いものとシンプルになっているものという違いがあります。学びの記録というのはどの社の教科書でもできるようになっています。</p>
委員	<p>すべての表紙を見せてもらったのですが、「光村」が一番表紙が道徳にふさわしいかなと思いました。それと字の大きさです。4年生の教科書を見たのですが、「光村」は、字は小さいですが行間をしっかりとって大変読みやすいと思いました。</p> <p>それともう一点。比べたら紙に少し色がついていますね。真っ白なものもありますが、(色がついていると)見た時に目に大変優しいという点からも「光村」がいいと思いました。</p>
委員	<p>私も同感です。</p>
教育長	<p>それでは、他に質疑がないようですので、採決に移ります。議案第31号「平成30年度に安芸高田市立小学校で使用する『特別の教科 道徳』に係る教科用図書の採択について」は原案のとおりとすることにご異議ございませんか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>ご異議ないようですので、議案第31号については原案のとおりとすることに決定しました。</p>